

大 京 都 市 大

工学系の男女共同参画 モデル事業の成果発表

東京都立大学は二月十日、東京・渋谷の渋谷エクセルホテル東急で、工学系イノベーションの男女共同参画モデル事業の成果発表を兼ねた国際シンポジウムを開いた。

プロジェクト担当責任者の岡田往子准教授が、女性研究者研究活動支援事業に採択された工学系イノベーションの男女共同参画モデルへの取り組みについて報告した。

岡田准教授は、今回の取り組みについて「大学生の七五〇の教育を担っている私立大学が、理工系の女性研究者を育てることが全体の底上げにつながる」と考えて応募した」と説明。採択後は、学内に女性研究者支援室

を設置。基本的な環境整備と併せて、女性教員登用の機運作りや提携大学とのネットワーク形成、女性研究者のロールモデルの提示、中高生への理科教育支援などを進めてきた。今後の取り組みとして、岡田准教授は、理工系の裾野を広げるとともに、私立の理工系大学の連携を一層進めていき



男女共同参画モデル事業の成果発表を兼ねた国際シンポジウム

たいとした。シンポジウムには、国内外の有識者も参加。各国での男女共同参画への取り組みや女性研究者が活躍できる環境整備などについて意見交換を行った。